



日本共産党前都議会議員 《東京民報折込み版》

そねはじめレポート

2012年 5月9日発行 第 41 号

そねはじめ事務所
114-0032
北区中十条2-11-6
Tel:3907-1135
Fax:3906-3225

都政でも 2 大公約投げ捨てた民主党

自民・公明とともに石原悪政推進に

4・27演説会

そねはじめ前都議が都政の現状と打開を訴え

写真は憲法擁護を訴えるそね・池内



★都議選前に「NO」叫んだ小児病院廃止も築地豊洲移転も★

そね前都議は、雨の中七百人が参加した四月二七日の赤羽会館の演説会で、来るべき総選挙とともに、一年後に迫った都議選への決意を述べました。

前回都議選前まで石原都政に殆ど賛成だった民主党が、都民の関心を集めた争点に限って小児病院廃止と築地市場の土壌汚染

された豊洲への移転計画には「民主はNO・自民はYES」と大宣伝。ところが選挙後、病院廃止はすぐ賛成。築地移転にも今年の予算議会ですら、民主の大臣が許可権限をもちながら賛成に転換したことをきびしく批判しました。

★十二区のはげしい選挙情勢★

そねはじめ前都議は地元東京十二区の総選挙を巡る動きを紹介。民主党の女性現職の、保育園を増やすより子どもを無理に詰めこむ政策は、許せないと訴えました。

一方で自民公明に戻れば、区民の大事な社会保険病院の民間売却路線が再燃する危険を指摘。消費増税とたたかい、国民が主人公を貫く共産党比例議席と池内さおり勝利をともにめざすと決意を述べました。



憲法への新たな攻撃をはね返そう！ 5月3日そね・池内で区内を街宣

写真は、新日本婦人の会のお花見会に参加し談笑するそね前都議



雨が一日降り続いた5月3日、そねはじめ前都議と池内さおり衆議員予定候補は、憲法記念日に当たって、区内の全地域を宣伝カーで駆けめぐり、今新たな攻撃にさらされている日本国憲法を守り真の実現をめざそうと呼びかけました。

◆瓦礫処理が進まぬのも憲法九条のせい？◆

そねはじめ前都議は、いま憲法に逆行する3つの大問題として、
① 沖縄の米軍基地の居座り・増強、
② 橋下市長の思想の自由の弾圧、
③ 東北の被災者の非人間的生活をあげ、日本政治の米国言いなり、反民主主義の実態を批判しました。
また大阪の橋下氏が「9条のせいだ愛国心がうすれ瓦礫処理も進まぬ」などとブログに書くなど国民の閉塞感につけ込む右翼的発言も軽く見ず正面からたたかおうと訴えました。

★★シリーズ消費増税とたたかう

ものづくり半世紀の沼田さんの証言<その2>

個々の業者から商店街丸ごと消滅へ

★小泉がとどめを刺した★
私は創業以来の得意先もあり
続いてきましたが、仕事量は前
の三分の一に落ち込みました。
加えて小泉内閣が自・公連立
で「構造改革」を行わない、日本
経済の破綻と海外からのリーマ
ンショックの大打撃が襲いまし
た。いまスーパーリッチと貧困
な私たちとの格差の大きさをひ
しひしと感じています。(つづく)

★自・社政権の仕打ち★
自・社政権が決め、橋本政権が
実施した97年の消費増税は
さらに被害を広げました。
零細業者につらかったのは課
税ラインの1千万円への引下
げ。仲間の業者もやりきれず、
廃業が相次ぎ、豊島町でも商店
街丸ごと消滅する所も。

4月25日、桐ヶ丘健康友の会「ふれあいト
ーク」で消費税と社会保障の一体改悪につい
て話すそねはじめ前都議



そねはじめ前都議も登場します

日本共産党演説会

消費増税に頼らず
社会保障と財政をたてなおす道

志位和夫

委員長が語ります

衆議院・参議院・都議
予定候補が勢揃いします



5月19日

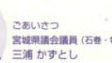
立井 亮 衆議院議員

宮本 敬 衆議院比例予定候補

午後6時20分開場

午後6時50分開会

土曜日



府中の森芸術劇場

三浦 かずとし

尖閣に口出す前に都民の 3大値上げとたたかえ

5月から石原知事の発案で沖繩・尖
閣諸島を買い取るための都の部局が
立ち上げられました。部長1名に課長
2名がつき、一般職員も入れると、人
件費だけでも年間1億円ちかくかか
ります。

日本共産党は大山都議団幹事長が、
国が取り組むべき領土問題に都が介
入すれば混乱させるだけと、反対のコ
メントを発表しています。

そねはじめ前都議は「そんなことよ
り都民を襲う医療・介護保険値上げや
東京電力値上げ・消費税の大増税とな
ぜたたかわないか」と知事の都民無視
の勝手な姿勢を糾弾しています。

そねはじめ交友録<その三十五>

そね質問の威力を一番知っていた 自民党・山本賢太郎議員

95年、都議会請願を一気に審議した際、建設委員会で「都
立葬儀所を造って」「多摩の生活道路を」等、元は自民紹介の請
願に起立は私一人という場面が続きました。「紹介議員はどうす
るんだ」と言う私に、思わず「ご苦労様」と語った山本委員長。

JRの横沢入開発反対請願も、最初私だけ反対でしたが、自民
幹事長が都議全員に配った「蛙の鳴く山の田んぼ」の絵本がち
ょうど横沢入の自然を讃える内容だったので「贈った議員さん
も自然守りたいはず。何とかできないか」と切々と訴えると、
社会党議員が「考えが変わった」と「保留」を主張し急きょ理事
会で筋書きを変えることに成功。たまたま傍聴に来ていた女子
中学生が「ドラマのようで面白かった」と感想をもらしたと、ローカル新聞でも記事になりました。

後に山本議員とは文教委員会で石原教育「改革」をめぐり激しく論争しますが、私の質問前に「曽根君お手柔
らかに」とヤジるので「そんなに驚異ですか」というと「じゃなきゃ言わんよ」と答えて一同爆笑。視察のと
きも共産党から一人だけの私を立ててくれたことも忘れられません。

96年都疑会建設委で阪神視察の時。中央奥で
地割れをまたいでいるのがそね都議(当時)、左
から二人目で横顔が出ているのが山本委員長

